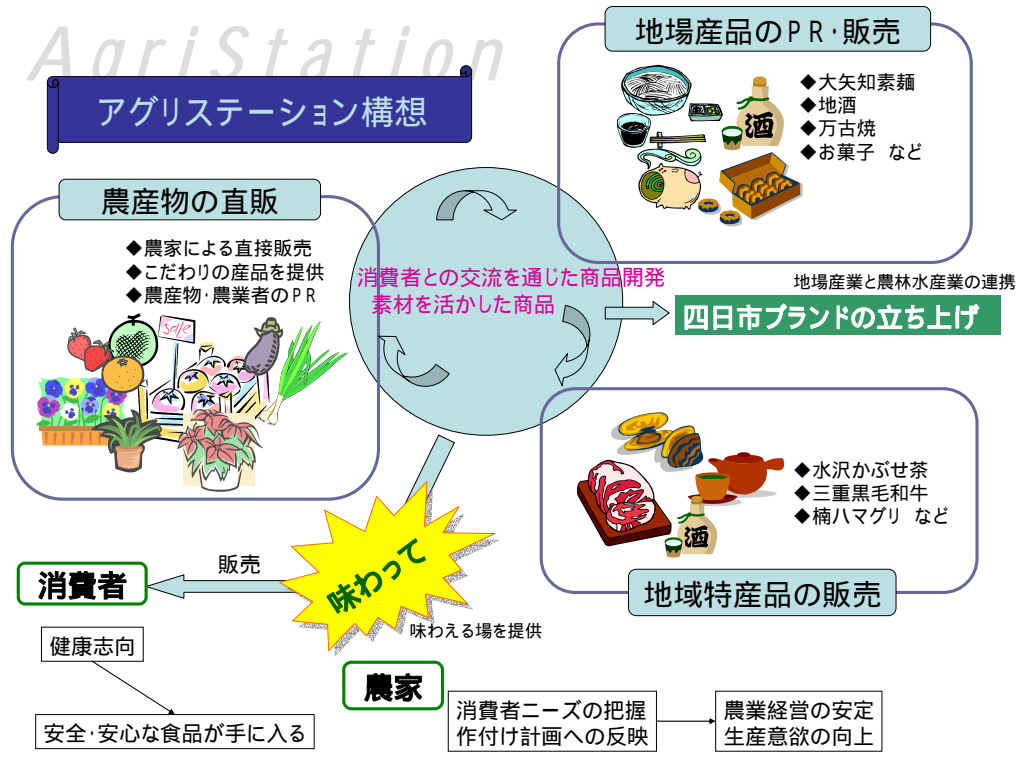
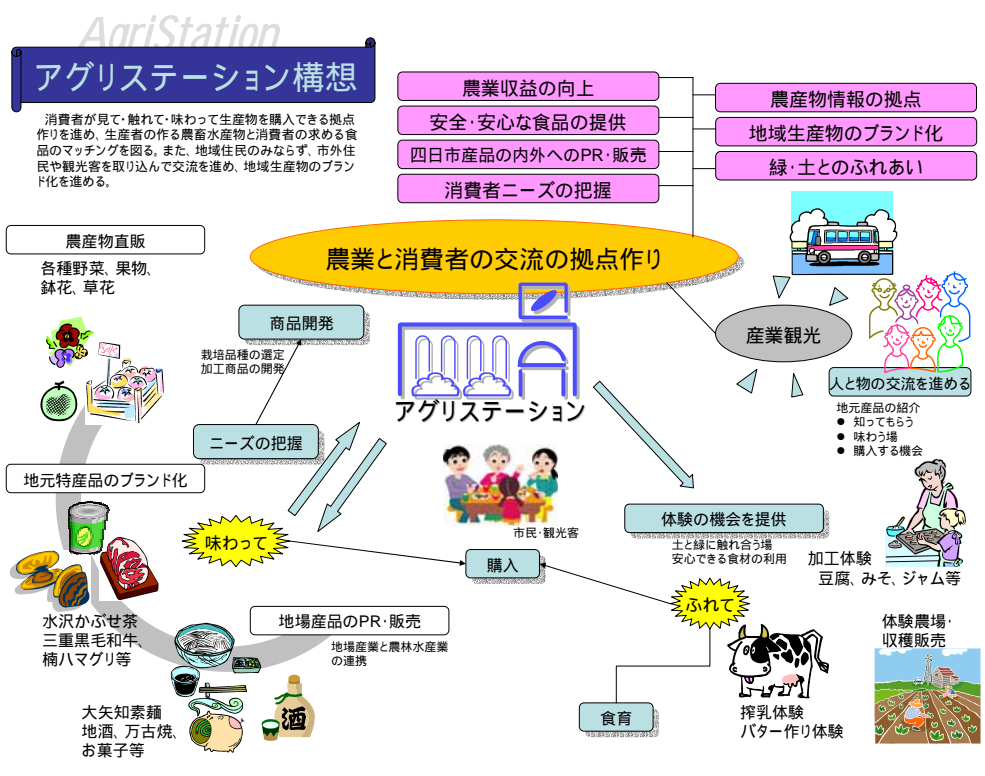
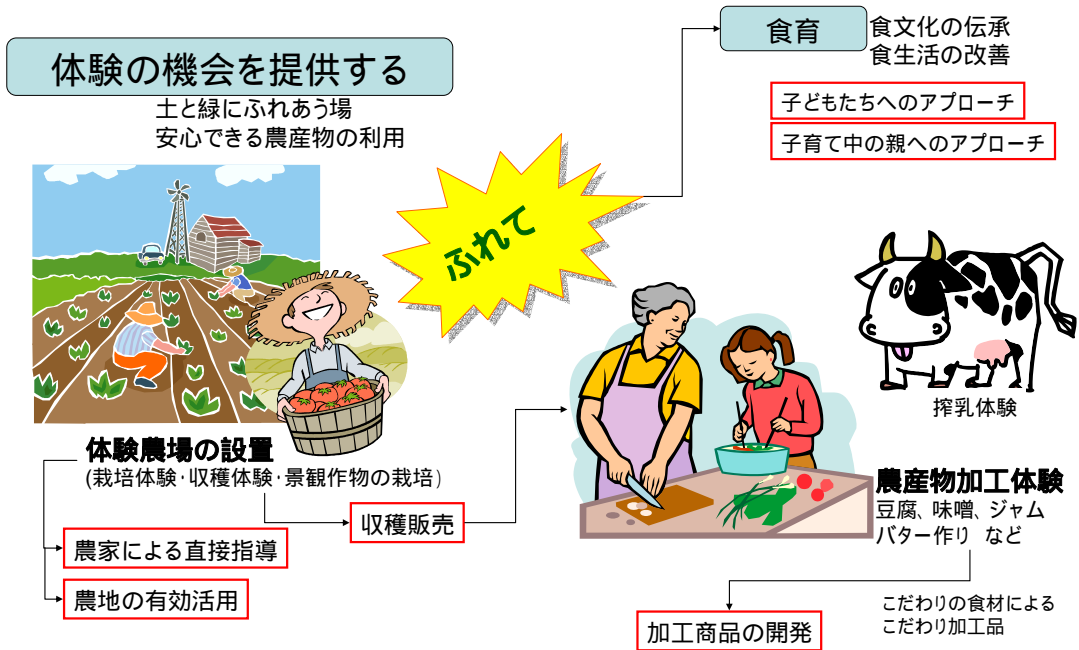


# 資料 「アグリステーション構想」再考



# Agristation

## アグリステーション構想



矢島代表 : 農業をテーマにしたテーマパークは、この辺ではデンパークなど、全国にいろいろあるが、取捨選択されていくだろう。これらと同じ発想ではできないが、一方で四日市市はふれあい牧場など成功している。

水谷課長 : 川島で、この考えの一部を実現できれば、という話である。

伊藤次長 : 中心街空き店舗の活用などでアイデアを出していただきたい。

(議論を終えるにあたり)

上杉塾長 : 食の供給、安全・安心というが、今のままでは生産者と消費者が相対する。「もっと買え」「無農薬にしろ」。今回は話しをする良い機会であった。性善説と性悪説で後者ばかりでは何も進まない。法律を守るのは大前提。当たり前の話である。

宇野理事長 : 認定は、生産者、消費者のすり合せでないという意味がないのでは。パワーが発生する。

芳野局長 : 伊勢市は将来、消費者と生産者の交流の機会を作るらしい。この事業でもぜひそうしたい。

九鬼会長 : 消費者の意見は大事。このような場での意見を聴くことができてよい。